

一般社団法人日本調理科学会 平成 29 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 27 日（土）14:00～17:00

場 所：お茶の水女子大学 本館 135 室（東京都文京区大塚 2-1-1）

出席者：香西みどり会長、石井克枝筆頭副会長、今井悦子副会長、青柳恵子、綾部園子、新井映子、
魚住恵、大喜多祥子、岡本洋子、笠倉知子、坂本裕子、次田一代、藤井恵子、松村昌彦、
松本美鈴、峯木真知子、吉濱義雄、（以上理事 17 名）、森高初恵（以上監事 1 名）

欠席者：真部真里子副会長、會田久仁子、和泉秀彦、岸田恵津、西堀すき江、沼田貴美子、福田ひとみ、
三成由美（以上理事 8 名）

本日の理事会は定款第 33 条の規程（理事 25 名中 17 名）を満たし成立。

配布資料

資料 1	一般社団法人日本調理科学会 平成 29 年度第 2 回理事会議事録（案）
資料 2	（一社）日本調理科学会 平成 29 年度第 3 回理事会報告（編集委員会）
資料 3	（一社）日本調理科学会 第 3 回理事会報告資料（情報管理委員会）
資料 4	（一社）日本調理科学会 研究委員会 平成 29 年度第 3 回理事会報告
資料 5	創立 50 周年記念 一般社団法人日本調理科学会 平成 29 年度大会記録
資料 6	一般社団法人日本調理科学会 創立 50 周年記念募金について
資料 7	平成 30, 31 年度代議員一覧（41 名） / 支部選出理事候補者名簿（平成 30, 31 年度）
資料 8	若手研究者発表奨励賞決定のご報告
資料 9	日本調理科学会平成 29 年度大会 収支決算報告
資料 10	平成 30 年度事業計画と収支予算書（案）
資料 10 補助	平成 30 年度年間スケジュール
資料 11	各支部から本部に報告をする際の書式（見本）
資料 12	平成 30 年度代議員総会開催に向けて
資料 13	一般社団法人日本調理科学会平成 30 年度大会のご案内と研究発表募集（案）
資料 14	平成 19 年以降の大会開催地について
追加資料	一般社団法人和食文化国民会議 入会及び大会規定と入会依頼状 / 企業・団体会員一覧
回収資料 1	H30, 31 年度会長候補被選挙人名簿
回収資料 2	平成 29 年 9 月～12 月入会申込者

1. 議長・議事録作成人・署名人選出

前例により議長は香西会長、議事録作成人は大喜多庶務担当理事、議事録署名人は香西会長、石井筆頭副会長、森高監事とする。

2. 前回議事録確認（資料 1）

平成 29 年度第 2 回理事会議事録（案）（資料 1）を確認し、脱字等修正の後、承認された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告

香西会長から前回理事会以降も会長の職務を執行してきたとの報告、石井筆頭副会長、今井副会長から会長を補佐して職務を執行してきたとの状況報告があった。

(2) 常置委員会からの報告

1) 編集委員会（資料 2）

松本副委員長より、資料 2 に基づいて報告があった。なお、投稿数が減少しているので理事からも会員に声掛けをして欲しいとの依頼があった。

2) 情報管理委員会（資料3）

石井筆頭副会長より、資料3に基づいて報告があった。

(3) 特別委員会からの報告

1) 刊行委員会

香西会長より、40周年記念刊行クッカーサイエンスシリーズは、8巻として畑江敬子先生による『泡をくうお話』が発行された。現在は、肥後温子先生によるものが印刷中であると報告された。

2) 規程委員会

今井副会長より、開催していないことが報告された。

(4) 研究委員会からの報告（資料4）

石井筆頭副会長より、資料4に基づいて報告があった。

1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

(5) 創立50周年記念事業実行委員会からの報告

1) 大会実行委員会（資料5）

綾部理事より、資料5に基づいて報告があった。

- ・大会参加者数は正会員484名、学生会員57名、非会員123名、非会員学生41名、賛助会員25団体、本部招待者32名、プレス4名であった。

2) 記念行事委員会（資料5）

綾部理事より、資料5に基づいて報告があった。

3) 記念出版委員会

香西会長より、50周年記念出版の『伝え継ぐ日本の家庭料理』について、報告があった。

- ・1巻目の「すし」が発刊された。2巻目として「肉・豆腐・麩のおかず」が発刊予定である。
- ・全シリーズ16巻の予約購読については、調理科学会を通じて申し込むと10%値引きとなるので、会員が窓口となって、申し込みが増えるように宣伝して欲しい。

4) 募金委員会（資料6）

香西会長より、資料6に基づいて報告があった。

- ・募金収支報告として、収入の部、支出の部の決算が報告された。支出の部のうち、記念出版については6,757,338円（暫定）を充てることができるので、この使用方法については記念出版支出案を示している。後ほど審議をお願いしたい。

(6) 選挙管理委員会からの報告（資料7）

1) 代議員の選出結果

香西会長より、資料7に基づいて報告があった。

- ・平成30,31年度代議員が一覧表のとおり41名が各支部より選出された。
- ・平成30,31年度各支部選出理事候補者は名簿のとおり17名である。支部長6名を含んでいる。

2) 平成30,31年度本部役員候補者選出選挙

香西会長より、回収資料1に基づき、平成30,31年度本部役員候補者名簿と選挙日程が説明された。

(7) 若手研究者発表奨励賞の報告（資料8）

今井副会長より、資料8（2017/9/11 理事宛のメール）に基づいて平成29年度大会における若手研究者発表奨励賞決定に関する報告があった。

岡本理事より、評価の視点の1つ目に「調理科学的観点」を入れてはどうかとの提案があり、了承された。それ以外は平成29年度大会と基本的に同様に行うこととなった。

(8) 慶弔の報告

香西会長より、慶弔に関して以下の報告があった。

- ・黒澤祝子氏の叙勲に対して祝電を送った。この件は学会誌 50 巻 6 号に掲載した。
- ・大谷貴美子理事の逝去に対しては弔電と生花一基を送り、学会誌 50 巻 6 号に追悼文を掲載した。

【審議事項】

(1) 新入会員承認の件（回収資料 2）

香西会長より、回収資料 2 に基づいて新入会員の説明があり、承認された。

(2) 平成 29 年度大会決算及び余剰金の件（資料 9）

綾部理事より、資料 9 に基づいて平成 29 年度大会の決算報告があった。支出の決算において、「要旨集・プログラム」の金額が多いのは、編集一切をレタープレスに任せたためであること、余剰金は 1,352,585 円であることが説明され、本件は承認された。

香西会長より、余剰金については慣例に従って担当支部に 2 割、本部に 8 割を振り分ける案が提案され、承認された。

要旨集の表紙に関して、岡本理事から学会誌の表紙デザインと揃えてはどうかとの意見があったが、基本的には大会開催校の選択に任せることで承認された。

(3) 平成 30 年度事業計画（案）・予算（案）の件（資料 10、資料 10 補助）

今井副会長より、資料 10、および資料 10 補助に基づいて平成 30 年の度事業計画、および予算額について以下の提案がなされた。

- ・経常収益の受取会費は、会員数が増えることを予定している。年次大会収益は 500,000 円の増加を見積もっている。50 周年記念刊行著作経費は、30 年度は 4 回発行されるため 29 年度の 2 倍としている。
- ・経常費用②管理費の会議費が少ないのは、選挙管理委員会が不要であるためである。

香西会長より、経常費用①事業費の学会刊行物等出版経費について、以下の提案がなされた。

- ・40 周年時に記念出版した『料理のなんでも小事典』は現在在庫がなく、購入希望に応えることができない。増版のためには 500 冊の補償が必要となるので、学会として 500 冊を買い取り、大会の際に販売する等の形をとりたい。そのため 450,000 円の予算を計上している。

以上の提案を受けて、本件は承認された。

研究委員会関連事業の(1)「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」について、綾部理事から、入会方法について質問があり、石井筆頭副会長から、以下の回答があった。

- ・熊本地震時の前例から、今後、大学単位で行えるように広げることや、キャンパーからの要請に応える検討なども考えていきたい。興味のある人に参加していただけるように、まず 6 月の代議員総会の際に募集し、大会でも報告したい。

(4) 支部の事業計画及び予算、事業報告及び決算の報告様式の件（資料 11）

今井副会長より、資料 11 に基づいて、以下の提案がなされた。

- ・Ⅱ-1 支部運営規程第 5 条に「支部長は『別途定められる様式』により、事業計画及び予算を報告し承認を受けるものとする」とあり、その様式の見本として資料 11 を示した。
- ・決算については、従来のような支部交付金の分だけではなく、支部の経費すべてを記入して欲しい。予算についても同様をお願いしたい。右列に支部交付金に関する記入枠を追加した新フォーマットを事務局から送るので、それを参照して欲しい。

以上の提案を受けて、本件は承認された。

なお、支部からの提出期限は、事業計画および予算は 4 月 10 日まで、事業報告および決算は 3 月 31 日までである。その後監査を受け、6 月の理事会で承認することとなる。

(5) 平成 30 年度代議員総会等の件（資料 12）

香西会長より、資料 12 に基づいて以下の提案がされた。

- ・平成 30 年度代議員総会に関する①開催日時、②場所、③議題、④電磁的方法（メール等）により開催

の招集をすること、⑤出席できない代議員は電磁的方法により議決権を行使できること。

- ・上記の代議員総会の前に、電磁的理事会を開催すること。
- ・代議員総会開催時の日程（予定）。

以上の提案を受けて、本件は承認された。

なお、講演会の講師は辨野義己氏（理研）、瀬戸美江氏（本年度学会賞受賞者）の予定であることが説明された。

(6) 創立 50 周年記念出版の件（資料 6）

香西会長より、資料 6 に基づき、創立 50 周年記念募金のうち、約 670 万円の記念出版支出の使途案が提案された。『伝え継ぐ日本の家庭料理』を 150 部購入し、都道府県別の著作委員数をもとにした配布数に基づき、各都道府県に配布（残部は事務局に置く）、その他各県へ配分する交通費、広報活動費、家庭料理研究会活動費にあてるとの案である。各都道府県で宣伝のために有効利用することとして、本件は承認された。

なお、石井筆頭副会長より、家庭料理研究会活動費の使用方法については、ポスター発表のデータを残す方向で、方法については平成 30 年度大会の際に検討したいとの説明があった。

(7) 次期（平成 30 年度）大会の件（資料 13）

香西会長より、資料 13 に基づいて平成 30 年度大会について提案された。資料 13 は大会実行委員長の升井先生から、次の学会誌掲載原稿（案）として届けられたものである。末尾の「演題登録に関する問い合わせ先」は再確認することとし、本件は承認された。

(8) 次々期（平成 31 年度）大会の件（資料 14）

香西会長より、資料 14 に基づいて、今後の大会開催地についての提案があった。2020 年度は東京オリンピック・パラリンピックの時期と重なるため、担当支部を検討する必要がある。順番通りに関東地区で開催する可能性について、関東支部が再検討することとなり、本件は保留となった。

(9) 平成 30 年度学会賞選考委員会の件

香西会長より、学会賞選考委員会を立ち上げ、委員は今井副会長、庶務担当理事 4 名（峯木理事、次田理事、藤井理事、大喜多理事）とする案が提案され、承認された。

なお、功労賞（各支部長に依頼）、学会賞、奨励賞各受賞者の推薦を 3 月 31 日までにお願いしたいとの依頼があった。

(10) 和食文化国民会議入会の件（追加資料）

香西会長より、追加資料に基づいて、和食文化国民会議の案内、および団体正会員として入会することが提案された。調理科学会としてのメリットは、事業に関する情報が入ってくることや、学会としてリンクを図ることができることである。今後、「伝え継ぐ日本の家庭料理」を宣伝する機会となることも期待できることから、本件は承認された。

以上

議事録署名人	会長	香西 みどり	印
	筆頭副会長	石井 克枝	印
	監事	森高 初恵	印